

池間大橋

紺碧の海の離島架橋



施主	沖縄県
施工場所	沖縄県平良市(現:宮古島市)
完成年	1992年
橋長	1425m
形式	PC連続箱桁橋
全幅	8.75m
最大支間長	80m(航路部)
標準支間	60m(プレキャストセグメント部)
製作方法	ロングライン・マッチキャスト工法
架設工法	(一般部)プレキャストセグメント・カンチレバー工法 (航路部)移動作業車によるカンチレバー工法
受賞	PC技術協会 作品部門 1992年
参考文献	橋梁と基礎 1989年 10月 プレストレストコンクリート 1991年 No.5

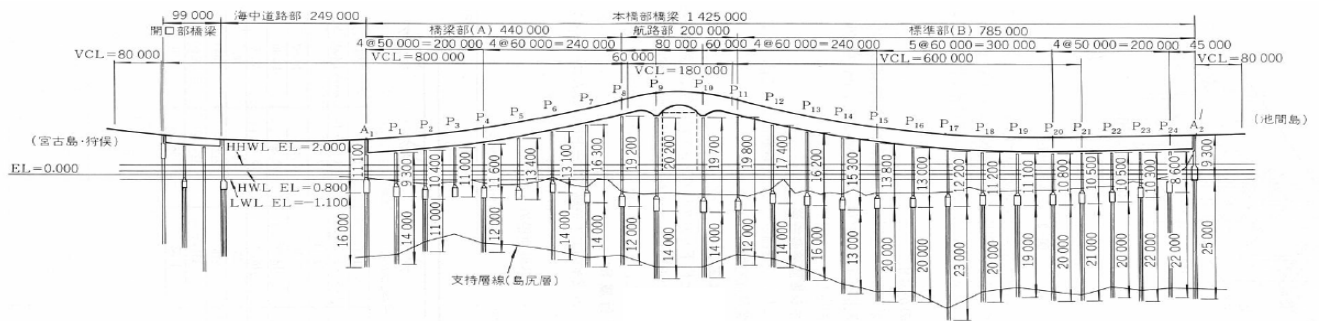


本橋は、沖縄県宮古島とその北にある池間島を結ぶ海上橋である。

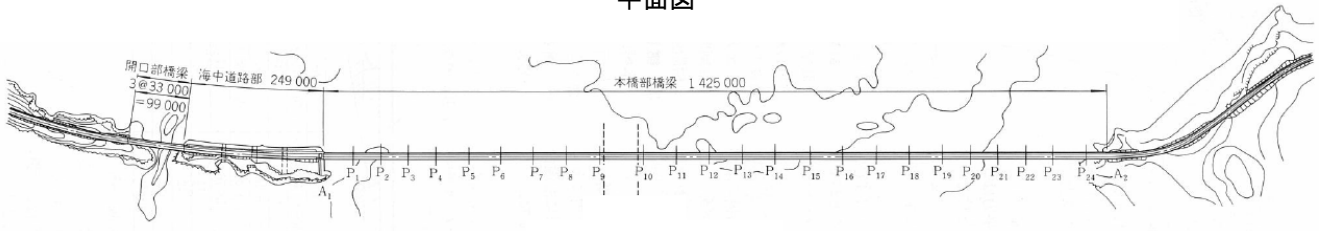
航路部は、支間80mを確保するために一般的な移動作業車を用いた片持ち張出し架設工法で施工されている。その前後は、台風襲来等の現地の施工条件を考慮し、プレキャストセグメント工法が採用された。

架設工法は、2連の架設桁を用いたバランسدカンチレバー工法である。柱頭部は栈橋を利用した現場打ちで施工されている。等径間長で掛け違い部を有しているため、掛け違いの橋脚上から一時的にセグメントを繋ぎ、外ケーブルによる張り出し架設が行われた。

側面図



平面図



バランスドカンチレバー架設



池間島側へ架設機の到達



全景 (左が池間島)